

第6期 事業報告書

自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日

6期目まで、一貫し介護福祉職の人材「確保」・「育成」・「定着」に対し取り組んできた。

介護職の「育成」については、介護員養成研修（介護職員初任者研修）及び介護福祉士実務者研修、出張研修、介護福祉士国家試験合格サポートなど多種多様な教育・学習支援、人材「確保」については、無料職業紹介や石川県委託職業訓練（実務者研修と介護予防運動指導員科）、「定着」として、個別相談などを実施する。「定着」への支援としてこれまで実施してきた修了生カフェは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止している。

その他様々な福祉関連機関のニーズに応じ、業務を受託し実施。他機関の実務者研修講師受託、介護技能実習評価試験受託などを行った。

また今期においては、より専門性の高い介護職を育成し、地域福祉・地域共生社会の実現に寄与すべく、白山市において認知症対応型共同生活介護の公募に応募する。採択決定し、令和3年9月、開設予定となる。

経営状況としては、コロナ禍による受講者数減少による収益減少とグループホーム開設に伴う経費支出が懸念されたが、前期と比較し受講者数が大幅に増加しており、それに伴い売上高も増加している。

業務遂行状況は、従前より在籍する職員は、業務の幅の拡大・業務効率化・職員間の連携を図ることができている。新規採用職員については専門分野の科目を受け持っているが、今後受け持ち科目を追加することにより、業務の幅を広げるとともに、安心して授業運営を行うことができるようサポートが必要である。

研修部門についての今後の見込は、新型コロナウイルス感染症の影響により予測困難ではあるが、おそらく短期的な受講者増加が見込まれる。しかしながら新しい生活様式に準じた研修スタイルの確立も必要不可欠である。感染拡大防止に最大限留意した対面研修の実施と併せ、オンライン化も推進していくことが必要と考えられる。中長期計画を見直し、時代に即した形へと変革を行っていく。